

アジアエネルギーパートナーシップ：
アジア経済統合を支えるエネルギー協力
一国エネルギー安全保障から地域エネルギー安全保障へ

2005.9.6

田辺靖雄（経済産業研究所副所長）

1 エネルギー問題を見る視点

- ・ 経済・社会活動に必要不可欠な物資・サービス
- ・ 政治経済学：市場＆政府
- ・ 国内問題かつ国際問題
- ・ 総合的政策の必要性：安全保障、外交、通商、金融、環境

2（エネルギーの前に）何が日本のゴールか？

- ・ 日本が「国際社会において名誉ある地位を占める」こと
- ・ 日本の経済的・政治的利益の向上：アジア経済統合
- ・ 「エネルギーセキュリティ」（広義：3E）の確保

3 問題の所在はどこに？

- ・ アジア経済統合：進む「デ・ファクト」vs. 後追いの「制度」
- ・ アジアのエネルギーセキュリティ上の不安
- ・ 中国の政治的・経済的台頭
- ・ 求められる日本のリーダーシップ：構想力、説得力、実行力

4 どのようにして？（参考にすべき方法論）

- ・ 学ぶべきヨーロッパ統合の経験
- ・ 学ぶべきIEAの経験

5 ヨーロッパ統合の経験とは？

- ・ モネの構想：独仏不戦の誓い、石炭・鉄鋼の共同管理・共同市場化、functionalな統合アプローチ
- ・ ECSC EC 単一市場 共通 政策
- ・ 単一エネルギー市場、共通エネルギー政策、共通競争政策
- ・ Collective power（市場・政策の統合をテコに一国を超える地域のパワー化）

6 IEAの経験とは？

- ・ 1974 年 キッシンジャー構想：O A P E C に対抗する先進消費国連合
- ・ 消費国としての対抗政策：石油備蓄、石油代替、省エネ
- ・ 1993 年 「共通目標」(市場の発展を踏まえた政策の進化：3 E)

7 アジアの中の日本

- ・ 東アジアの貿易・投資関係 = 生産・物流ネットワーク
- ・ 通貨・金融の安定、エネルギーの安定は経済成長に不可欠の前提条件
- ・ 中国（そしてインド）：日本にとってのチャンスとリスク

8 アジアのエネルギー上の課題とは？

- ・ 広義の「エネルギーセキュリティ」(3 E)
- ・ 完成度の高い日本のエネルギー政策 vs . 未完の中国のエネルギー政策
- ・ 供給面：石油、天然ガス、石炭、原子力、再生可能
- ・ 需要面：省エネ
- ・ 重要な環境問題：伝統的公害、地球温暖化
- ・ 重要な供給国との関係

9 日本のめざすべき道

- ・ 「アジアエネルギーパートナーシップ」のすすめ
- ・ アジア経済統合の支えに
- ・ 政治の力、官僚の力、産業界の力、市民の力

以上